



防災訓練を行いました。

4月9日(月)に、2007年度防災訓練を実施しました。

この防災訓練は東海地震に備えて実施されました。始めに行われた教員によるオリエンテーションでは、災害時の安否連絡方法や対処法が書かれた「聖隷学園地震防災対策カード」を配布し、学生は実際に携帯電話等で安否情報システムにアクセスし、安否確認入力を行いました。その後、1、2年生は校舎から避難地への避難訓練を、3、4年生は、三角巾を使用しての応急処置や救護者を搬送する救護訓練を行いました。



救護者搬送訓練

避難訓練

深瀬須加子前学長が最終講義を行いました。

3月29日(木)に、本学学長を8年間務められた深瀬須加子前学長が最終講義を行いました。演題は「軌跡 五十年の学び―保健婦教育・研究」。深瀬前学長が専門としている地域看護学分野での長年の研究活動のまとめとして、約1時間にわたり講演しました。講演会には、教員をはじめ、在学生等が参加しました。



卒業パーティを行いました。

3月12日(月)、アクトシティ浜松中ホールにおいて、卒業式を行った後、グランドホテル浜松に移動し、卒業パーティを行いました。

パーティには、卒業生・修生とその保護者をはじめ、実習・就職施設の方、教職員など、約600名が出席。卒業生・修生の方から寄せられた写真とともに学生生活を振り返る「思い出のアルバム」や、ハンドベル・プラスバンド演奏などが行われました。また、大学後援会長、保護者、実習指導担当の方などからお祝いの言葉をいただき、卒業・修生の門出を祝いました。



看護学部教員有志と学生によるハンドベル演奏。指揮は深瀬前学長。

プラスバンドの演奏。卒業生5名を含む26名が演奏しました。

聖隷クリストファー大学社会福祉学会が発足しました。

12月9日(土)に、聖隷クリストファー大学社会福祉学会の発会式を行いました。この学会は、日本の社会福祉が大きな変革を迎えている中、社会福祉に携わり、同じ志をもつ者が心を合わせ、社会福祉の実践と教育・研究の連携をはかりながら、新しい方向性を見だしていくために、設立されました。発会式では、初めに会長の選出が行われ、選出された本学社会福祉学部の山本誠教授が就任のあいさつをしました。そして、記念講演会では、本学社会福祉学部の林玉子教授が「職場環境の条件―自分が輝けば職場も輝く―」と題して講演しました。現在、学会への会員登録申し込みは約100名に達していません。

本会へのお問い合わせは山本誠教授まで。
E-mail makoto-y@seirei.ac.jp

INDEX	PAGE
新学長就任	1
聖書のことば	2
特集・国際福祉実習	3
新任教員の紹介	5
私の教育研究	6
クリストファーニュース	7
後援会から	9
キャンパススケジュール	10
学友会活動を振り返って	10
クリストファーニュース	11

4月5日(木)に、アクトシティ浜松中ホールにおいて、2007年度入学式を行いました。本年度の入学生は、学部、助産学専攻科、大学院の3研究科あわせて356名です。新入生のことばとして、リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻科に入学生した瀧野麻紀子さんが、大学生活や学びへの抱負を語りました。



読者アンケートのお願い

裏面の質問にご記入いただき、ポストに投函してください。

POST CARD

433-8790



570

浜松北局 570

〒433-8790

静岡県浜松市北区三方原町3453

聖隷クリストファー大学 総務部 行

静岡県浜松市北区三方原町3453

名前	住所	電話	E-mail	区分
		() - ()	@	()
				<input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> その他

シリーズ／聖書のことば
[長谷川保と聖書]



それから、
(イエスは)たらいに水をくんで
弟子たちの足を洗い、
腰にまとった手ぬぐいで
ふき始められた。

(ヨハネ福音書13:5)

イエス・キリストが、この地上におられた頃のローマ帝国の社会は、支配者側と一般民衆側と二つの階層があっただけでした。つまり、金持ちと貧しい人々という二極化された社会でした。キリストは貧しい階層に生まれ死んでゆかれました。支配者層の人々とはほとんど接触をもつことがありませんでした。神の御子は支配者側に立たなかったのです。もともと神のご性質は、上に立つこととしない性質ではなく、謙遜で柔かな性質なのです。

ところがキリストの弟子たちは、自分たちの中で誰が一番偉いかを競うような人たちでした。もちろん自分が一番上になりたかったのです。そこでキリストは上記のように、弟子たちの足を洗う行動に出ました。当時、外出から帰った人々の足を洗う仕事は奴隷の仕事でした。「あなたがたも人の上に立つことしないで、へりくだって人の足を洗ってあげる人になりなさい」と教えられたわけです。

聖隷学園の創設者たちは、ここで語られているような、他の人の「足を洗う人々」でした。私たちが人々の「足を洗う人」になりましょう。

聖隷学園宗教主任／鈴木崇巨

本学は創立以来、保健・医療・福祉に携わる専門職業人の育成を図っており、このような専門職業人は、病める人、あるいは何らかの健康上の問題または障害をもった人を対象としています。

このような人を対象とする学問は、対象となる人々を身体的、心理・社会的、そして霊的な存在としてとらえ、それぞれの人がそれぞれにたどりつける最高のよい状態を獲得したり維持できるように、専門的で高度な知識と技術、そして温かい心で援助するサイエンスでありアートであるといわれます。つまり、援助する者、皆様方は、人々の健康の状態を、サイエンスに裏付けられた高度な知識・技術、そして豊かな感性と鋭い科学的観察眼で見抜き、その援助を画的に行うのではなく、アートとして創意工夫を凝らして温かい心でそれぞれの

人々に適したように行うということ
です。

本学の理念であります「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」の精神は、アートとして援助を行う上での根本といえるでしょう。

本学では、このような学問を修め、保健・医療・福祉に携わる専門職業人を育成するために、幅広い教養、そして専門的な知識・技術とそれらの基盤となる科目が、皆様の関心を深めながら、系統的に学べるように教育上の工夫を凝らしています。そして、感性豊かな、人の痛みがわかる温かい心が育まれるように知的のみならず、さまざまな人々との交流やサークル活動等、学生の支援組織をしっかりとさせる努力をしています。

また、最近、保健・医療・福祉分野ではそれぞれの専門性が高まり、人々のニーズが複雑・多様化する中で多職

種による連携・協働、つまりチームアプローチによる援助が強く求められるようになってきています。それは病める人、また家族を中心にさまざまな職種の人々が関わって、それぞれの専門性を適切に発揮して、迅速に効果的、効率的に問題解決を図ろうというものです。

本学では、異なる職種をめざす3学部3学科の学生が、さまざまな機会を通して交流を深めています。さらに近い将来、共に働く他の職種の人々の専門性を理解し、互いに尊重しあう、真に効果的なチームアプローチに貢献できるような教育上の工夫を試みています。

皆様はこれから始める学びは、病める人あるいは健康上に何らかの問題・障害を持つ人々の命や人生、生活をあずかる尊い専門職業人を目標とするもので、大変厳しく、学びの途上には山あり谷ありで、時に挫折しそうなこともあるかもしれません。しかし、どうか仲間と共にがんばってください。それを乗り越えた時、人の痛み、苦しみが一層よくわかり、この道を選んだ喜びややりがい、がふつふつと湧いてくることと思います。

大学院に入学の皆様は、専門職としてのこれ迄の学習と経験の上に、更に高度な専門性を深め、高めると共に、研究やスペシャリストとしての厳しいトレーニングが待ち受けており、かなりハードな学びとなるでしょう。しかし社会のニーズの高まりの中で大きな期待が寄せられており、必ずや満足感、充実感が得られるものと信じておられます。

私達、教職員一同、いつも皆様のことを思い、皆様のすぐ近くにいて少しでも皆様のお役に立つことを願っていることを覚えていてください。

そして、御家族の皆様、どうか彼らの喜び、悩み、苦しみを時に温かく見守り、時にわがまま、励まししながら、忍耐強く、支え続けてあげてください。

新入生の皆様は健康に気をつけ、一日も早くこの学び舎に慣れ、沢山の友人達と交流を深め、喜びを積み上げ、たくましく大きくなられることを心から祈りつつ、学長の言葉とさせていただきます。

(4月5日、於アクトシティ浜松中ホール)

新学長に小島操子教授が 就任しました。

3月31日をもって深瀬須加子前学長が任期満了により退任し、新学長には小島操子教授が就任しました。小島新学長は聖路加看護大学看護学部、大阪府立看護大学学長を歴任後、ライフワークであるがん看護の大学院教育を聖隷ホスピスに隣接する本学で行いたいとの考えから、2005年度より本学教授に就任。本学看護学研究所修士課程においてがん看護教育に力を注いでいます。略歴並びに4月5日に行われた入学式における学長のことばを紹介します。

小島操子学長プロフィール

- 略歴
- 1976年 ミネソタ大学大学院修士課程(看護学)修了
 - 1987年 大阪医科大学より医学博士号授与
 - 1994年 聖路加看護大学看護学部長
 - 1998年 大阪府立看護大学学長

- 所属学会及び社会における活動等
- 日本看護科学学会 評議員・理事・看護学術基盤整備委員会委員長
 - 日本生命倫理学会 評議員・理事、日本臨床死生学会理事
 - 日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程認定委員会委員
 - 大学評価・学位授与機構 大学機関別認証評価委員会専門委員
 - 大阪府医療審議会委員 他



入学式 学長のことば

新入生の皆様、聖隷クリストファー大学に御入学おめでとうございます。本日はご多忙の中、御来賓の皆様、また御家族・保護者の皆様方多数の御出席をいただき、このように盛大な入学式が行われましたこと、大変慶ばしく、厚く御礼申し上げます。

新入生総勢356名の皆様、それぞれに高邁な志をもって本学を目指され、長く苦しい孤独な学びの後に、難関を突破して、本日もここに集われましたことに教職員一同、心から敬意を表し、お慶び申し上げます。御家族の皆様方もさぞ安堵されましたこととお察し致し、心からお祝い申し上げます。

聖隷クリストファー大学は設置母体であります聖隷学園の設立以来、キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を建学の精神として、40数年にわたる教育実績の中で、幾多の変遷を経て今日に引き継がれています。

四年制大学としての出発は1992年で、それまで全国に11校

で停滞していた日本の看護の大学教育の先鞭をつけ12番目の看護系の大学として聖隷クリストファー看護大学が開校されました。そして1998年には大学院看護学研究所修士課程が設置されました。

また、2002年には社会福祉学部が開校され、2004年には大学院社会福祉学研究所修士課程と、リハビリテーション学部が、そして2006年にはリハビリテーション科学研究所修士課程が開校されました。

2008年度にはこれら3つの研究科を総合した保健科学研究所修士課程の開設に向けて準備を進めています。

本学はどのように看護学、社会福祉学、リハビリテーション学を学び究めたい、又、これらの専門分野の連携協働について学びを深めたい方々のために、完成した、充実した教育機関として発展を続けております。

現代社会は人々の生活が豊かになる一方で、格差が広がり、又、少子高齢化が急速に進み、情報が氾濫し、保健・医療・福祉に対するニーズが高度に、そして複雑多様になってきております。

その一方で、医科学技術は急速に進展し、資源・財源に限りが生じ、人々のニーズと保健・医療・福祉の対応がかけ離れていっている感があります。このような状況の中で、人々の保健・医療・福祉への要求や期待はますます増大しています。

ガイドなし
通訳なし

特集

国際福祉実習

他大学にはないちょっと(かなり?)ユニークな実習



インド聖隷希望の家にて

国際福祉実習とは

国際福祉実習は社会福祉学部が学生が選んで3・4年次に履修できる実習です。この実習では、国際社会に貢献できる人材養成を行うために、実際にアジアをはじめとする海外へ出かけ、その国のさまざまな社会福祉事情や文化を体験することにより、価値観の多様性や異文化を受容することを学び、国際的な視野を養うことを目指します。

実習の時期は主に夏期・冬期・春期休業中の2〜8週間で、聖隷と関わり深い施設(表1参照)の中から実習先を選びます。

実習のプログラムとその特徴

希望する学生は担当の先生と相談



韓国の老人福祉施設にて

の上、実習計画を作成していきます。実習前には事前学習として訪れる国の地理、歴史、文化、政治状況、生活の実態、そして福祉の制度などを個人、またはグループで調べたり、その国を訪れたことのある先輩の話の聞いたりして、総合的に理解します。

実習期間中、学生は現地の実習指導者の指導を受けます。また、実習記録(日誌)をつけます。朝起きてから夜寝るまでの間自分がしたこと、そこで体験したことや感じたことを書き留めます。

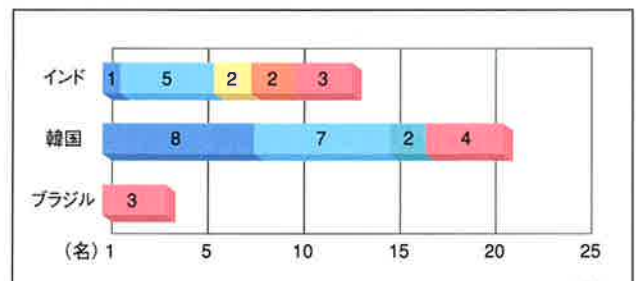
実習終了後には、事後学習として実習レポートを作成し、年度末に行われる実習報告会で実習の成果を発表します。

この実習は、準備された既存のプログラムに参加するのではなく、実習先・スケジュールの検討、決定からチケット手配までのすべてを、担当の先生と相談しながら学生が自分自身で行う点に特徴があります。

参加者に聞いてみました

2004年度から始まった国際福祉実習には合計で37名が参加しました(2006年秋 semester まで、グラフ1参照)。2006年春・秋 semester に参加した方にインタビューを行いました。

■グラフ1/国際福祉実習参加者数



ブラジルの名物料理を前に

南インドを旅行中に会った子供たちと

■表1/国際福祉実習の実習先

国名	施設名	ホームページアドレス
インド	知的障害者教育施設 聖隷希望の家	http://www.seireiashabhavan.org
韓国	児童養護施設 東明児童福祉センター	http://www.dmchild.or.kr
	老人福祉施設 東明老人福祉センター	http://www.dmsenior.or.kr
ブラジル	重症心身障害者施設 希望の家	http://www.kibonoie.org.br

※インド聖隷希望の家及びブラジル希望の家については聖隷歴史資料館に展示があります。

インド



【国際福祉実習に参加した理由】

- ・聖隷の関連の施設が海外にあると聞き、興味があった(上原里菜さん)。
- ・海外で福祉の仕事に就きたいと考えていたので、福祉施設を見学できる良い機会だと思った(渡辺玲香さん)。
- 【印象深かったこと】
- ・生まれてはじめて象に乗ったこと(松尾利保さん)。
- ・インドの人々はとても優しく、誇りを持ち、エネルギーに満ちている印象を受けた。現地を訪れ直接会って話をしてみたいと本当のことはわからないと感じた(山田洋平さん)。



ブラジル



【国際福祉実習に参加した理由】

- ・国際福祉実習があること
- ・ブラジルに聖隷との関係の深いブラジル希望の家があることを知っていて、本学に入学してから(山本春菜さん)。
- ・先輩が行ったことのない国へ行ってみたいと思った(小野菜保子さん)。
- 【印象深かったこと】
- ・乗り換えを別として25時間飛行機

韓国



【国際福祉実習に参加した理由】

- ・日本と海外の福祉の違いを感じてみたかった(成瀬隆之さん)。
- ・単なる旅行だと観光地を巡り表面的なものを見るだけで終わってしまう気がした。実習として出かけたので施設を見学でき、いろいろな人に会えて様々なことを経験できた(永田彩さん)。

きたと思う(永田彩さん)。

【印象深かったこと】

日本と韓国の福祉の違いを感じた。福祉器具などは日本より遅れているのに、利用者のことを考え本場に親身に接しており日本よりも良く感じた(芳賀宣美さん)。

・冬期休業中に参加したが非常に寒くてつらかった(成瀬隆之さん)。

【実習を終えて今思うこと】

・自分が普段狭い世界に生きていて感じた(永田彩さん)。

・友人と2人で実習に参加したので、尻込みせずいろいろなことに積極的に関わることができた。多くのことを経験することができて良かった(芳賀宣美さん)。



国際福祉実習で学んで欲しいこと



国際福祉実習はいわばオーダーメイドの実習であり、行き先を決め、自分で行動を起こし、自分で考え、自分で計画を立て、自分でチケットの手配などをすることから始まります。制度・法律も異なる国でどのような「生活の営み」がそこにあるのか。自分の肌で、身体でその国の福祉はもとより、気候や文化、価値観、習慣、生活そのものをも含めて、多くを感じてきて欲しいですね。

実習に参加したからといってその経験がすぐに役に立つわけではないかもしれません。しかし、異国での様々な出会いや経験はこれからの歩みの中で大きな宝となっていくと思います。

実習は夏期・冬期・春期休業中に行われます。日本にいたらアルバイトや遊びで過ぎていくかもしれない日々を海外で過ごし、自分を、家族を、そして日本を外から改めて見つめ直す機会になるのではないかと思っています。

(山本誠社会福祉学部教授)

新任教員の紹介

①出身校
②前任校・前勤務先
③専門分野

「看護学部」基礎看護学 ●4月1日付就任
篠崎 恵美子 助教
①名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程 看護学専攻
②中部大学生命健康科学部保健看護学科
③基礎看護学

「社会福祉学部」保育 ●4月1日付就任
小川 千晴 助教
①中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科
②聖隷福祉事業団 逆瀬川あゆみ保育園
③保育

2007年度教員人事に関する報告

「看護学部」老年看護学 ●1月1日付就任
小田 猛士 助手
①聖隷クリストファー大学看護学部
②社会福祉法人ひかりの園 静光園 ③老年看護学

「看護学部」成人看護学 ●4月1日付就任
井上 菜穂美 助教
①千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程
②成田赤十字病院 ③がん看護(緩和ケア、がん化学療法)

「社会福祉学部」心理学 ●4月1日付就任
高木 邦子 助教
①名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程(後期課程)
②三重大学大学院 他非常勤講師
③社会心理学(対人関係)、教育心理学、パーソナリティ心理学

「教授昇任」
看護学部
社会福祉学部
鈴木 知代
山本 誠
志村 健一

「リハビリテーション学部」言語聴覚学専攻 ●2月1日付就任
足立 さつき 講師
①上智大学福祉専門学校併修課程
②日本福祉教育専門学校 ③言語発達障害学

「産学専攻科」 ●4月1日付就任
徳留 静代 助手
①鹿児島県福祉専門学校助産科・人間総合科学大学人間学部人間科
②海老名総合病院 マタニティセンター ③助産学

「社会福祉学部」介護福祉 ●4月1日付就任
木村 暢男 助教
①法政大学大学院人間社会科学研究科福祉社会専攻修士課程
②NPO法人 ケアサポート湧 ケアマネジャー
③介護福祉

「教授昇任」
看護学部
社会福祉学部
リハビリテーション学部
大塚 静香
福岡 隆康
水池 千尋
重森 健太
根地嶋 誠
建木 健

「看護学部」助産学 ●4月1日付就任
濱松加寸子 教授
①静岡県立厚生保育専門学校保健助産学科
専修大学文学研究科社会専攻博士後期課程
②名古屋大学 医学部保健学科 ③助産学

「社会福祉学部」児童福祉 ●4月1日付就任
小川 恭子 准教授
①北海道教育大学大学院教育研究科修士課程学校教育学
②児童家庭支援センターセター長、児童養護施設副施設長
③子ども家庭福祉

「社会福祉学部」介護福祉 ●4月1日付就任
野方 円 助手
①中央大学大学院情報科学研究科専攻修士前期課程
②株式会社 S-ソフトウエア S.E.P.G.システムエンジニア(プログラマー)
③情報科学(画像処理)

「看護学部」
竹田千佐子教授、風岡たま代助教
伊藤ふみ子助手、松本浩幸助手
「看護短期大学部専攻科助産学特別専攻」
小柳布佐講師
「社会福祉学部」
島山龍郎教授、石井正春教授
山本るり子講師

私の教育研究

浮上するものへの信頼 Trust in Emergence

志村 健一
社会福祉学部 教授
■最終学歴: フィルディング大学院大学教育学博士課程(教育学博士)
■所属学会: 日本社会福祉学会、日本社会福祉実践理論学会、日本キリスト教社会福祉学会等
■研究テーマ: グループワーク、リーダーシップ、研究方法

道都大学に助手として着任し、大学教員として歩きはじめたが、自分自身の研究方法の狭さと実験計画法の限界を認識するに至り、弘前学院大学に移ってから再度大学院での学びをスタートさせることとなりました。前任校では、カリキュラムを構成する重要な科目として社会福祉現場実習を位置づけており、「大学における教育、社会福祉実習について」をテーマとして研究を進めました。これらの一連の研究成果が日本人として最初のグラウンデッドセオリー・グラウンデッドアクション専攻の博士号として結果し、支えてくださった先生方、学生たちに感謝しています。

実践と理論を結び方法論を手に入れたわけですが、自分自身としては、研究者としてようやくスタート地点に立てたあたりだろつかというような状態です。グラウンデッドセオリーは1960年代にグレーザーとストラスによって「発見」された研究方法で、組織的、帰納的に、データから当該領域に密着した理論を生成するもので、わが国における質的なデータ分析の研究では代表的な方法として選ばれています。「浮上するものへの信頼(Trust in Emergence)」はグラウンデッドセオリーのテーマでもあり、「行き当たりばったり」ではなく、教育、研究の過程で

浮かび上がってくるものを信頼し、大切にしていきたいものです。ライフワークとしてNPO法人スペシャルオリンピックス日本の理事をしており、知的発達障がいのある人たちへスポーツを通じて社会参加への支援を続けています。静岡県内においても活動が広がりつつあり、学生たちと一緒に汗と涙を流せる日が近いこ

とを期待している今日この頃です。(体育の先生になったかた夢をこのあたりでかなえているのかも)「て」が日本でも注目されていますが、大切な人を失うことは人間にとつて重く痛い体験です。しかし生まれてきた人誰にでも、いつか死は訪れるのです。当たり前のことなのに、私達は普段、死についてほとんど意識することなく過ごしています。生と死の問題は死を間近にした時に考えるのではなく、健康である時から自分の身近なこととして考えておくことが、人間の生死に立ち会う看護者にとって必要です。現在、看護学部の4年生の講義内で、生や死について自分の価値観や死生観を深める「アセスメント」を取り入れていきます。自らの考えに気づくことが、死から目を背けることなく、相手の意思を尊重した看護の実践につながります。看護師をめざす感性豊かな学生とともに、私自身も看護観を見つめ直しながら、これからも生きることを支える看護をめざしていきたいと思っています。

連載第28回

大学4年の教育実習時まで保健体育の教員になることに疑いを持っていませんでした。当時の東京都の教育実習のシステムだったのでしょうか、保健体育科の教育実習生は二週間の保健体育科の実習終了後に一週間、障がい児学級で実習をすることになっていました。その障がい児学級の経験が進路変更のきっかけとなり、障がいのある子どもたちへの教育的な支援を学ぶため大学院留学中ではセラピューティック・レクリエーションを専攻しましたが、特にグループの力を活用した支援について学びました。私自身の研究のコアはそれ以来、グループ・リーダーシップになっています。

道都大学に助手として着任し、大学教員として歩きはじめたが、自分自身の研究方法の狭さと実験計画法の限界を認識するに至り、弘前学院大学に移ってから再度大学院での学びをスタートさせることとなりました。前任校では、カリキュラムを構成する重要な科目として社会福祉現場実習を位置づけており、「大学における教育、社会福祉実習について」をテーマとして研究を進めました。これらの一連の研究成果が日本人として最初のグラウンデッドセオリー・グラウンデッドアクション専攻の博士号として結果し、支えてくださった先生方、学生たちに感謝しています。

実践と理論を結び方法論を手に入れたわけですが、自分自身としては、研究者としてようやくスタート地点に立てたあたりだろつかというような状態です。グラウンデッドセオリーは1960年代にグレーザーとストラスによって「発見」された研究方法で、組織的、帰納的に、データから当該領域に密着した理論を生成するもので、わが国における質的なデータ分析の研究では代表的な方法として選ばれています。「浮上するものへの信頼(Trust in Emergence)」はグラウンデッドセオリーのテーマでもあり、「行き当たりばったり」ではなく、教育、研究の過程で

浮かび上がってくるものを信頼し、大切にしていきたいものです。ライフワークとしてNPO法人スペシャルオリンピックス日本の理事をしており、知的発達障がいのある人たちへスポーツを通じて社会参加への支援を続けています。静岡県内においても活動が広がりつつあり、学生たちと一緒に汗と涙を流せる日が近いこ

とを期待している今日この頃です。(体育の先生になったかた夢をこのあたりでかなえているのかも)「て」が日本でも注目されていますが、大切な人を失うことは人間にとつて重く痛い体験です。しかし生まれてきた人誰にでも、いつか死は訪れるのです。当たり前のことなのに、私達は普段、死についてほとんど意識することなく過ごしています。生と死の問題は死を間近にした時に考えるのではなく、健康である時から自分の身近なこととして考えておくことが、人間の生死に立ち会う看護者にとって必要です。現在、看護学部の4年生の講義内で、生や死について自分の価値観や死生観を深める「アセスメント」を取り入れていきます。自らの考えに気づくことが、死から目を背けることなく、相手の意思を尊重した看護の実践につながります。看護師をめざす感性豊かな学生とともに、私自身も看護観を見つめ直しながら、これからも生きることを支える看護をめざしていきたいと思っています。

生きることを支える看護

豊島 由樹子
看護学部 准教授
■最終学歴: 聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科修士課程(看護学修士)
■所属学会: 日本看護学科学会、日本家族看護学会、日本がん看護学会、ほか
■研究テーマ: 脳神経疾患患者の看護、家族看護、緩和ケア

看護師の大多数が勤める病院は、病気を治すための場所ではありませんが、実際には重い障がいを抱えて生き方を変えなければならぬ方や、死と向かい合っている方も多く入院していらっしゃいます。そのような患者様は、自分の生を真剣に考えながら毎日を過ごしています。そんな患者様への看護のあり方を考えている頃、私の父が脳腫

瘍を患い障がいを抱えて死と向かい合うことになりました。病を受け入れていく患者も辛いですが、ともに暮らす家族にとつても、病を抱える人とともに生活を変化させていくことは、なかなか大変な経験でした。本学に大学院が開学したことをきっかけに第一期生として進学し、障がいを持って生活を再構築していく過程の患者・家族の認識について修士論文のテーマとして研究に取り組みました。



就職支援編

2006年度の卒業生... 修了生の就職・進学状況は下表のとおりです。

また、社会福祉学部の卒業生からPSW(精神ソーシャルワーカー)として6名就職したことが今年度の特徴のひとつです。

2006年度/卒業生の進路結果

Table with 7 columns: 学部, 卒業生数, 就職希望者, 就職者数, 進学希望者, 進学者数, その他, 就職希望者に対する就職率

※()内の数字は2006年9月卒業生

2006年度/看護学部・専攻科 就職・進学先一覧(2007年4月2日)

Table with 5 columns: 病院・自治体・学校名, 看護学部 (看護師, 保健師, 医療秘書), 専攻科 (進学, 助産師, 看護師)

※()内の数字は2006年9月卒業生

2006年度/社会福祉学部 就職・進学先一覧(2007年4月2日)

Table with 3 columns: 業種・職種, 会社名・法人名, 専攻 (社会, 介護)

就職マナー講習会



11月16日(木)に、リハビリテーション学部3年次生および社会福祉学部3・4年次生を対象として、就職マナー講習会を行いました。



リハビリテーション学部 就職講演会、就職体験・講話会を行いました。



本学言語聴覚専攻の白石教授より開催趣旨説明



質疑応答の様子

12月9日(土)に、リハビリテーション学部リハビリテーション学科言語聴覚専攻の就職講演会を行いました。

就職体験・講話会を行いました。小川恵子リハビリテーション学部長のあいさつ、就職センター長による今後の就職活動についての説明のあと、

看護学部就職講演会・卒業生との懇談会を開催しました。

1月10日に、看護学部3年次生を対象に就職講演会・卒業生との懇談会を開催しました。



懇談会に参加した学生たちからは、「働いている先輩と交流がもてたことで、勇気付けられた」「就職への不安が軽減した」といった感想も

学友会活動を振り返って

聖隷クリストファー大学
学友会会長

小山 隆太

社会福祉学部3年次生



今期の学友会の活動の目標の一つとして、他大学との交流を挙げていました。そして今期から「SUN」という組織に加盟しました。

「SUN」というのは静岡県内の大学祭のネットワークで、県内の大学と協力し、各学校の大学祭を盛り上げていこうとする活動を主に行っています。こうした活動は本学にとって初めてのことで、何もかも手探りの状態でした。しかし、他大学との連絡、話し合いを通じ、多くのことを学ぶことができました。これらのことを来期の学友会に伝えていこうと思います。

一方、学内の活動では悔やむことが多かったです。特に学生生活についての満足度調査結果に対して学友会としてどのように対処していくかということが後手に回ることが多く、調査の結果を生かすことができませんでした。「状況を改善していく」という姿勢が甘かったと痛感しました。

今期の学友会活動には多くの失敗がありましたが、失敗してしまっただけの原因をよく考え、どうしたら成功できるか改善点をしっかり引き継ぎたいと思います。

最後に、学生及び教職員の方々の多くのご協力に感謝します。ありがとうございました。そして、来期もよろしくお願いいたします。

4月	5日	入学式
	6日	新入生オリエンテーション、新入生セミナー、在学生ガイダンス(10日まで)
	7日	大学院オリエンテーション
	9日	防災訓練
11日 春semester授業開始		
5月	1日	創立記念日
	2日	4月30日振替休日
7月	7日	保護者懇談会(社会福祉学部)
	17日	春semester授業終了
	18日	定期試験(25日まで)
	26日	夏期休業(9月14日まで)
8月	9日	定期試験結果発表
	29日	定期試験追試・再試(31日まで)
9月	26日	春semester学位記授与式・卒業式
	27日	秋semesterガイダンス
28日 秋semester授業開始		
29日 保護者懇談会(リハビリテーション学部)		
10月	27日	保護者懇談会(看護学部)
11月	3日	聖灯祭
12月	19日	クリスマス礼拝
	25日	冬期休業(1月8日まで)
1月	28日	秋semester授業終了
	29日	定期試験(2月4日まで)
2月	13日	定期試験結果発表
	18日	定期試験追試・再試(20日まで)
3月	12日	卒業式・学位記授与式・修了式 卒業パーティ
	17日	春期休業(～31日)

Q1 本誌の全体の印象について○印をつけてお聞かせください。(具体的なお意見もお書きください)

- 1 読みやすい 2 読みにくい

Q2 本誌に興味を持たれた記事に○印をおつけください。(いくつでも)

- | | | |
|---------------------|----------|-------------|
| 1 新学長就任 | 2 聖書のことば | 3 特集・国際福祉実習 |
| 4 新任教員の紹介 | 5 私の教育研究 | 6 後援会から |
| 7 クリストファーニュース[具体的に] | | |
| 8 お知らせ[具体的に] | | |

Q3 本誌へのご意見、ご要望、その他大学に関するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

読者アンケートのお願い

読者の皆様から多数の貴重なご意見をいただきありがとうございました。主なご意見・ご質問に関する回答は後援会のホームページに掲載しています。引き続き学報に関するご意見をいただければ幸いです。お待ちしております。

聖隷クリストファー大学後援会 2006年度決算・2007年度予算について

2007年4月5日(木)に2007年度後援会総会が開催され、下記のとおり2006年度決算及び2007年度予算が承認されました。

2006年9月には後援会の援助により校内に売店を設置しました。2007年度予算は、2006年度に初めて実施した保護者満足度調査(対象:2・4年次生保護者)の結果に基づいて国家試験対策講座等補助費を増額したほか、2004年度のリハビリテーション学部開設及び看護学部定員増が4年目になり完成年度を迎えるため、関連支出を増額しています。

(単位:円)

収入の部		2006年度決算	2007年度予算	
科目	項目			
会費・入会金	入会金収入	3,387,500	3,375,000	
	会費収入	25,160,000	27,740,000	
利息収入	預金利息	6,154	1,500	
前年度繰越		5,915,140	5,747,959	
収入の部 合計		34,468,794	36,864,459	
支出の部		2006年度決算	2007年度予算	
科目	事業計画			
教育活動 振興援助費	新入生セミナー補助	1,074,988	1,487,150	
	海外研修補助費(アメリカ:ネブラスカ・ウエスリアン大学)	252,910	150,000	
	海外研修補助費(シンガポール:ナンヤン理工学院)	95,987	120,000	
	海外研修補助費(中国:第三軍医大学、隔年実施)	42,312	—	
	看護学部 遠隔地実習交通費補助	1,199,960	1,200,000	
	社会福祉学部 国際福祉実習渡航費の補助	199,998	200,000	
	リハビリテーション学部 実習宿泊費補助	300,000	1,400,000	
	看護短期大学部専攻科 学外学会等参加費の補助	268,940	—	
	大学助産学専攻科 学外学会等参加費の補助	—	50,000	
	国家試験対策講座等補助費	651,000	1,550,000	
	福利厚生費	学生相談室に係る費用の補助	5,233,782	5,600,000
		学生健康診断補助	3,711,544	4,615,355
		学生の自主活動への補助 (学友会活動、クラブ活動、大学祭開催等)	1,500,000	1,500,000
学友会活動への援助(ボランティア活動推進委員研修費)		0	100,000	
クラブ指導者への謝礼(琴、手話、管弦楽、茶道、テニス等)		180,000	300,000	
学生食堂光熱水費、衛生管理費等への補助		3,950,093	4,000,000	
売店光熱水費への補助		—	120,000	
交通安全・防犯啓発活動費用の補助		155,170	150,000	
卒業記念品贈呈		688,503	1,291,500	
卒業パーティ開催		1,600,000	2,100,000	
会員情報提供費	家主懇談会費用	1,760	5,000	
	学生用コピー機・印刷機費用の補助	1,374,762	1,200,000	
	健康管理センター薬品等購入費	288,784	300,000	
	大学報印刷費用、郵送料	1,475,215	1,550,000	
	保護者懇談会の開催	444,130	600,000	
	施設設備費	学生福利厚生設備備品の充実費用	916,452	700,000
		駐車場防犯カメラシステムリース料	189,624	189,624
		大学周辺の防犯灯維持費	62,768	70,000
	総務費	慶弔費	60,500	50,000
		保護者満足度調査経費(郵送料)	28,225	80,000
会費納付書等印刷費、郵送料		33,305	60,000	
役員会(年3～4回予定)		66,500	150,000	
予備費(2006年度決算額は売店設置費及び光熱水費)		2,673,623	5,975,830	
次年度繰越金		5,747,959	0	
支出の部 合計		34,468,794	36,864,459	

保護者向け
満足度調査に
ついて



2006年度の後援会事業計画の一つとして保護者を対象とした満足度調査を実施しました。この調査は後援会事業及び大学に対する改革・改善のためのご意見やご要望を賜ることを目的として、2年次生の保護者152名、4年次生の保護者40名の皆様にご回答いただきました。ご協力をいただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

調査では、大学を選んだ理由、大学の教育や学生生活等の支援に対する満足度、後援会事業の中で力を入れて欲しいこと等をお聞きしました。「総合的に保護者としてお子さんを大学に進学させてよかったと思いますか」という設問には、回答していただいた方のほぼ9割の方が「大変満足している」、「やや満足している」と回答されました。また、今後より力を入れて欲しい後援会事業として①資格取得・就職支援講座等開催の援助②実習に必要な交通費・宿泊費等の補助③学生食堂運営の援助等が挙げられました。この調査結果を受けて、2007年度予算では国家試験対策講座等の補助を厚くしました。

2007年度も引き続き満足度調査を実施し、保護者の皆様や学生の満足度を高められるよう改善に努めたいと考えていますので、調査の回答にご協力下さいますようお願いいたします。

調査結果については、後援会ホームページに掲載予定です。大学のホームページ[<http://www.seirei.ac.jp/>]内の「保護者の方へ」をクリックすると後援会のホームページをご覧いただけます。